

# あっぱれ 優拍手!

小学校  
■全国クロスカントリーリレー研修大会県代表選考  
区間賞 2区 石井翼(常磐小)

中学校  
■1年生都市野球大会  
優勝 1年生野球部  
■1年生地区別県大会  
2位 1年生野球部  
■東総駅伝大会  
優勝 女子の部 宮崎優子・斎藤愛結美・林千尋  
小川莉香子・高岡菜由  
(区間賞 1区 宮崎優子・2区 斎藤愛結美)  
5区 高岡菜由  
■こども県展  
準特選 中学生の部 鎌形佳世

高校  
■東総駅伝大会  
2位 男子の部 平山椋(佐原白楊高)  
(区間賞 4区 平山椋)  
■関東ゴルフ選手権冬季大会  
47位 男子の部 平山悠太(多古高) **全国大会へ**

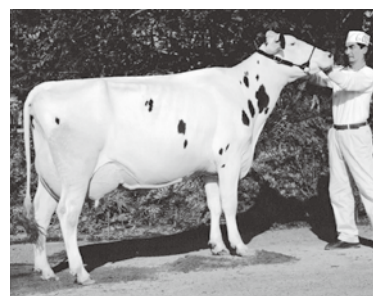
## 素直な気持ちを表現した作文が県知事賞

日常生活での体験や、犯罪などに関して感じたことを作文に書くことで、運動に対する理解を深めてもらうことを目的とする『社会を明るくする運動作文コンテスト』で、奥村風葉さん(多古中3年)の作文が県内の応募総数 4,841 点の中から、県知事賞を受賞しました。

「自分の気持ちを素直に書いたら、こんな大きな賞がもらえて驚いています」と、その喜びを笑顔で語ってくれました。



## 愛情を注いで育てた乳牛が優等賞に!!



11月26日、千葉家畜市場にて開催された『第57回千葉県乳牛共進会』で、渡邊俊之さん(井戸山)の乳牛が優等賞に輝きました。

この共進会には、県内の各地区から選出された乳牛 69 頭が参加。牛の年齢や出産経験の有無によって 8 つの部門に区分され、体の大きさや姿勢、乳牛としての生産能力などが細かく審査されました。

日々愛情を注いだ成果の受賞、おめでとうございます。

## 海外派遣事業を振り返って

昨年8月、8日間にわたって実施されたニュージーランドへの『国際交流海外派遣事業』の報告会が12月22日、多古中学校体育館で行われました。

事業に参加した3年生19人が、映像を使いながらホームステイや現地の方との交流を通して感じ取った貴重な体験談を、他の生徒や町関係者らに報告。「今回の経験を自分の将来に役立てたい」などと力強く語りました。



## みんなで楽しいクリスマス

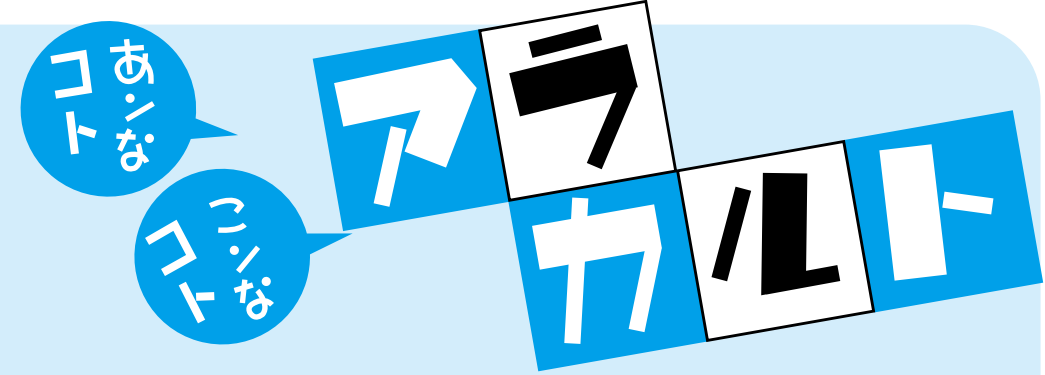
牛尾地区のクリスマス会が12月23日、牛尾共同利用施設で開催されました。

これは、地域と子どもたちとの交流を図ろうと、地元の実行委員の皆さんが中心となって行っているイベントです。

3年目を迎える今回は、地区内の小学生 18 人をはじめとする総勢 41 人が参加。各種ゲームや地域の昔話、室内オリンピック大会などバラエティーに富んだ楽しいプログラムで盛り上がりしました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。  
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。  
〒289-2292  
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



## 多古中央病院の明るい未来に向けて

全国的な広がりを見せる医師不足など地域医療の崩壊が深刻化する中、多古中央病院の経営改善と診療体制の充実を目指して 12月6日 “多古町まちづくりフォーラム”主催による『地域医療懇談会』がコミュニティプラザ多目的ホールで開催され、約 150 人が参加しました。

第一部の講演会では、多古中央病院の小久保茂樹院長が、現在の医療制度が抱える問題点に触れながら、医師や患者数の減少に伴う医療収益の低下など、厳しい経営が続く病院の窮状を強く訴えました。

また第二部の意見交換会では、参加者から「医師確保のためには、特色を持った魅力ある病院にすることが必要」「町民がどのような医療を求めているかを把握すべき」「先進的な病院を視察してみてもどうか」「病院に対する町民の危機意識を高めるような取り組みが必要」などといった貴重な意見が出されました。



## 高校生が赤十字防災ボランティア地区リーダーに!!

災害が起きた際の救助はもちろん、災害本部の立ち上げや人員の配置などに務める『赤十字防災ボランティア地区リーダー』に、多古高校3年の野々宮恵さん(堀之尻)と木川千紗都さん(林)が認定されました。

きっかけは教室内に張られていた赤十字救急員養成講習のパンフレット。軽い気持ちで講習を受け、実技・筆記のテストに合格し赤十字救急員に一。続いて赤十字防災ボランティア一般説明会、香取・海匠ブロック赤十字ボランティアリーダー養成講習会を経て修了証を手にしましたが、高校生では非常に珍しいとのこと。「大切なのは、まずは自分の身を守り、そして身近な人の安全を確認すること。災害は身近だということを知ってほしいです」と話すお二人。

今後も、さまざまな分野でリーダーシップを発揮してくれるよう期待します。



防災ボランティア地区リーダーに認められた野々宮さん(左)と木川さん(右)

## 夢の都大路を駆け抜けて

12月21日、京都で開催された『全国高等学校駅伝大会』に、富里高校の田中淳子さん(仲町)が出場しました。11月の県大会で優勝を飾り、女子では5年ぶり2度目の全国出場となる同校。田中さんは2年生ながらアンカーを任せられ、競技場内で2人を抜き去り県大会での優勝記録を1分34秒も上回るタイムでゴールしました。

大会後田中さんは「県代表として恥ずかしくない走りをしようと思いましたが、全国は厳しいと感じました。応援して下さった皆さんありがとうございました。来年もまた都大路を走れるように頑張ります」と、力強く語ってくれました。



アンカーとして力走する田中さん  
写真提供・(株)千葉日報社